PRESONAL COMPUTER VOICE MAIL SYSTEM

Publication number: JP62269548 (A) Publication date: 1987-11-24

Inventor(s): SATOU RIYOUICHIROU

Applicant(s): CANON KK

Classification:

- International: H04M11/00; G06F3/16; H04M9/02; H04M11/00; G06F3/16; H04M9/02; (IPC1-

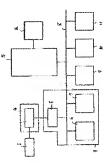
7): G06F3/16; H04M9/02; H04M11/00

- European:

Application number: JP19860114015 19860519 Priority number(s): JP19860114015 19860519

Abstract of JP 62269548 (A)

PURPOSE:To exchange a message by a sound by quantizing and accumulating a sound message and changing it over to personal computer data and transmitting it in compliance with the request. CONSTITUTION: The message to be communicated from a telephone set 2 is inputted by a sound. The sound inputted is digitally converted and filed to an external storage device 11 of a self-station. Next, it is communicated to a station 14 of an opponent in the same LAN that a message exists. When the signal that transmission may be executed comes from the opponent, the message data of the filed sound are transmitted to the opponent. While the received message data are transiently stored to a RAM 7 and digital analog conversion is successively executed by a converter 1, for the message of the analog sound, information can be heard from the telephone set 2.



(B) 日本国特許庁(JP)

の 特許 出頭 公開

@ 公 開 特 許 公 報 (A) 昭62 - 269548

<pre>⑤Int,Cl.*</pre>	識別記号	庁内整理番号		◎公開	昭和62年(198	37)11月24日
H 04 M 11/00 G 06 F 3/16 H 04 M 9/02	3 0 2	8020-5K 7341-5B 8426-5K	審査請求	未請求	発明の数 1	(全3頁)

60発明の名称 パソコンボイスメールシステム

②特 簡 昭61-114015

20出 順 昭61(1986)5月19日

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キャノン株式会社内 了一朗 70発明者 キャノン株式会社 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 の出 頭 人

の代 理 人 弁理士 丸島 儀一

1. 范男の名称

パソコンポイスメールシステム

2. 特許請求の箱開

データ気圧のためのパーソナルコンピュータ、 音声入出力のための電話機、音声をデイジタル相 互変換する変換が段を有してLAN対応のワーク ステーションを構成することを詐欺とするパソコ ンポイスメールシステム。

3 . 発明の許額な説明

本意用は L A N の端末としてのパーソナルコン ビュータに関する。

逆水、LANにおけるメッセージのやりとりは 文字でのやりとりに限定されていた。

本発明は、従来の文字だけのやりとりに限定さ れていたななを除去し、弁声によるメツセージダ

技を可能にするものである。 可に各地メッセージを装予化お給し所用に応じ

てパソコンデータと切換伝送するものである。

タと自由メツセージとを格納し効率の良い管理を するものである.

里に背巾データを認識して文書データとし、パ ソコンデータの画面表示器にて切換表示せしめる

型にパソコンデータと音声による文書データと を一瞬値中に合成して表示せしめるものである。 型にもの企政データをトページの文ポデータと して構成し、ページ伝送又はページプリントせし めるものである。

第1 題は木発明を採用したパソコンポイスメー ルシステムの外限例である。第2回は本システム の野路構造を示す株立例であり、第3個は木シス テムのフローチャートである。第2回、第3回を 参照して水システムにおける動作につき詳細に 説明する。第3回のフローチャートはCPU5、 ROM6他の処理部に関するプログラムを期であ

第3回のステップS1において第2回の行り2 **ずにパソコンデータを高級する記憶手段にデー で示される電話機より広えたいメンセージを音声**

特開昭62-269548(2)

により入力する。次のステップS2において、 入力する音声をディジタル変換し、第2回の打号 11で示される自ステーションの外部記憶整置に ファイリングする。次にステップS3において、 ファイリング後、 孤2回の符号14で示される 間ーLAN内の相手のステーションへメッセージ のあることを伝える。次にステップS4におい て、相手から送信しても良いという信号が来るま で持ち合せ処理をする。次にステップSSにおい イステップ S 2 マフアイリングした f 声のメッ セージデータを相平へ送信する。次のステップ SBでは受けたメフセージデータを前2回の符号 7 セ示されるRAMへ一時貯え、順次第2 頭の符 目1で呆されるコンバータによりデイジタル・ア ナログ変換を行いながら次のステップS7におい ナアナログ化した方面のメッセージを示えの間の 符号2 で示される電話機より情報を聞き出すこと ができる。

尚、記憶装置11として、フロッピーデイス ク、ハードデイスク等の不得免のものがあるが、

し合成せしめる。

このRAMの合成データはCRTのビデオRAMに名話され、1ペーク商画に表示されて(513)。これは別途の返費指令により1ページ伝送される。 スページブリントされる。 尚ページの返、ページブリントとは1ページの間、データの扱れが停止することなく伝送、ブリントされるもので、例えばA41ページのシートに合成チータがブリント所生される。

4. 関面の路準な説明

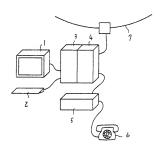
第1関は水発明によるパソコンによるボイス メールシステムの外観図、

第2個は本システムの契維構成を示す模式例、 第3個は本システムにおける動作のフロー チャートである。

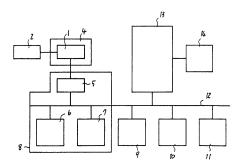
> 出願人 キャノン株式会社 代理人 丸 島 係 (日日)

この記憶製器は未来CPUSによるバソコンデータ処理によるデータル、キーボードにより入力したデータに及づく文治データを格納するものである。 妥ってこの同じハードデイスクに、育力の受引作データを格納する場合と上記文カデータを移動する場合とと記文カデータを移成する場合で各の管理領域に各々格納する。この週別コードは、データ権別とデイスク中の名々に対応するアドレスデータである。この及出しデータの入力により預覧のデータを選択してブリント又は伝送する。

第1回



第2回



第 3 図

